

第2学年2組 学級活動（2）指導案

日 時 令和7年11月14日（金）2校時

場 所 2年2組教室

児 童 2年2組 21名

指導者 T1 教 諭 小笠原 眞琴

T2 栄養教諭 柏谷 和美

1. 題材

「かみかみ大作戦！」

（エ 食育の観点を踏まえた学校教育と望ましい食生活の形成）

2. 題材について

（1） 児童の実態

本学級の児童は、元気で明るく、何事にも前向きに挑戦できる児童が多い学級である。給食における児童の姿は、4月から比べると食べられる量が徐々に増え、自分の苦手な食べ物にも少しずつ挑戦する姿が見られるようになってきた。

一方で、早く食べ終えたいという思いから、流し込むように食べたり、よく噛まずに飲み込んだりする姿も見受けられる。また、食事のスピードが速い児童ほど、よく噛まずに食べる傾向があり、「噛むこと」に意識が向いていない児童が多いことがうかがえる。また、噛む力が弱く、噛むことに時間がかかり、食事を十分に進められない児童も見られる。いずれの児童にとっても「噛むこと」に関する課題が見られる。

さらに、給食後に実施したアンケートでは「給食を食べる時に意識していること」として「噛むこと」と答えた児童は21人中4人であった。このことから、児童の多くが「噛むこと」と健康との関わりについての認識が十分でないと考えられる。

（2） 題材設定の理由

本題材は、前述の通り、児童の給食における食べ方に課題が見られること、また「噛むこと」の習慣を身に付けることや、よく噛むことのよさを理解することが必要であると考え、設定した。

小学校低学年は、食習慣の基礎を身につける大切な時期である。この時期に、「噛むこと」への関心を高め、その意識を継続していくことは、健康的な食生活を築く上で重要である。

そのため本単元では、「噛むこと」が自分の健康にどのように繋がるのかを学び、給食時間を通して噛む回数を意識して食べる体験を積み重ねていく。その意識を継続することによって、生涯にわたって自己の健康に配慮した食生活や楽しく食事することに繋がると気付くことができるようにしたい。

前時では、栄養教諭から噛むことのよさを聞いたり、給食のごはんを用いて実際に噛む回数を変えて食べ比べたりして、自分たちのこれまでの食べ方を見直していく。また、それを踏まえて本時では、自己の食生活や、前時に意思決定しためあての取り組み方を見つめ直し、解決方法を他者と話し合うことで、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して、継続的に噛むことを意識した食生活にしていく機会としたい。

3. 第1学年及び第2学年の評価規準

よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団の一員としての話し合い活動や実践活動を通じた思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
自己の身の回りの諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、基本的な生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の身の回りの諸課題を知り、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	自己の生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、進んで課題解決に取り組み、他者と仲良くしてよりよい人間関係を形成しようとしている。

4. 活動計画

【事前の指導】

日時	児童の活動	指導上の留意点	◎評価【評価方法】 ☆研究の視点
10月24日（金） 朝学習	・「噛むこと」に関するアンケートを記入する。	・アンケート結果から、学級としての実態をつかみ、「噛むこと」への意識の低さを実感できるようにする。	◎どのくらい噛んで食べているかについて振り返ったり、今後の見通しをもったりすることができる。 主 【学習シート】 ☆ア
10月29日（水） 4時間目～給食時間	・「噛むこと」のよさを知る。 ① おなかにやさしい。 ② 頭も元気になる。 ③ 歯と口を元気にする。 ・ごはん一口量で噛む回数が5回と30回とでは、どのような違いがあるのかを体感する。 ・実際に給食を食べ、いつもより意識して噛むことができたかのふりかえりをする。		◎噛むことへのよさについて理解している。 知 【発言】 ☆ア
10月29日（水）～ 11月4日（火）	・1回目の「かみかみ大作戦」を実施する。		◎自己の課題を知り、解決方法などについて考え、話し合っ

			いる。 【思】【学習シート・観察・発言】 ☆イ ◎友達の意見を参考にしながら、自分の課題に合った具体的なめあてを決めている。 【思】【学習シート・観察・発言】 ☆イ
11月10日（月）	・10月29日～11月4日に行った、7日間のかみかみ大作戦の取組を現在も継続できているか、ふりかえる。	・前時で栄養教諭から教わったごはん一口量30回目安を基準に、噛むことが意識してできたかをふりかえらせる。	

【本時に関わる活動】

日時	児童の活動	指導上の留意点	◎評価【評価方法】 ☆研究の視点
11月14日（金） 2時間目（本時）	題材 「かみかみ大作戦！」	・児童の「噛むこと」への興味・関心を再度高められるよう、事前指導～取り組み後のふりかえりの発表を工夫する。（担任） ・事前の指導でおさえた、噛むとよい3つのことをもう一度おさえる。（栄養教諭） ・どのように「かみかみ大作戦」を立てればよいか、3つの視点を与える。（担任）	◎自己の課題を知り、解決方法などについて考え、話し合っている。 【思】【学習シート・観察・発言】 ☆イ ◎友達の意見を参考にしながら、自分の課題に合った具体的なめあてを決めている。 【思】【学習シート・観察・発言】 ☆イ

【事後の活動】

日時	児童の活動	指導上の留意点	◎評価【評価方法】 ☆研究の視点
11月17日～11月21日	- 自分が決めた実践方法について取り組み、達成できたら、色ぬりをする。 - 自分で決めた取組を振り返り、がんばりや成長に気付くことで、今後の実践の継続につなげていく。	- 取組状況が分かる掲示を作成し、自分のめあてを継続して意識できるようにする。 - 家庭にも周知し、一緒に取組を行ってもらい、保護者の方から取組についてのコメントをいただく。	◎具体的な実践方法に、進んで取り組んでいる。 主 【学習シート・観察】 ☆ウ、エ

5. 本時の展開

(1) 本時のねらい

事前の実践の振り返りや意識調査から、食事における「噛むこと」に関する課題に気付く、「噛むこと」を意識する大切さや意義を理解し、自分に合った具体的なめあてを考えることができる。

(2) 展開案

	児童の活動	指導上の留意点		資料	◎評価【評価方法】 ☆研究の視点
		T 1 (学級担任)	T 2 (栄養教諭)		
つかむ (7分)	1 「噛むこと」への意識についての現在の課題を捉える。	- 事前に実践した振り返りと、実践後に行った「噛むこと」への意識調査を提示する。 - 前時におさえた「なりたい姿」(21人のかむかむライダー)をもう一度共有し、課題解決への意欲付けをする。	事前の指導でおさえた噛むとよい3つのことをもう一度おさえる。	アンケート結果	
	2 課題の確認	かむかむライダーになるためのさくせんを立てよう。			

さぐる (8分)	3 7日間の実践後に、継続してできなかった原因をさぐる。 4 かむかむライダーになるための3か条を聞く。	・状況に応じて、ペアや小グループで話し合わせる。 ・学級目標に合わせた3つの視点にしばって話し合わせる。 ① やる気 ② きょう力 ③ 全集中		・紙板書	
見つける① (15分)	5 かむかむライダーになるためには、どんな作戦を立てたらよいか話し合い、短冊に書く。	・3つの視点をもとに発問をする。 ・話し合いの視点に沿っているか、話し合いが円滑に進んでいるかを見ながら机間指導をする。	・子どもたちから出された作戦に問いかけをしながら、より具体的な取組にしていく。	・短冊 ・ホワイトボードマーカー	◎自己の課題を知り、解決方法などについて考え、話し合っている。 思 【学習シート・観察・発言】 ☆イ
見つける② (10分)	6 それぞれのグループが考えた作戦をT1・T2と一緒に、全員で3つの視点に分類し、自分ができるような作戦を見つける。	・具体的でない作戦については、問いかけをしながら明確にする。	・専門的な視点で、取組の価値付けを行っていく。 ・子どもたちから出なかった作戦については、新たな視点として追加していく。 (飲み物で流し込まない、姿勢を正しくして食べる) など	・子どもたちが書いた短冊	
決める (5分)	7 ぼく・わたしの「かみかみ大作戦」を立てる。 8 振り返る	・具体的なめあてを決めてワークシートに記入できるよう個別に声かけを行う。	・具体的なめあてを決められた子には、価値付けと今後に向けての励ましをする。	・学習シート	◎今日の学習を受けて、自分に合った具体的な実践方法を書いている。 思 【学習シート・観察・発言】 ☆イ

(3) 板書計画

